

第 19 回 腎病理夏の学校プログラム

開催スケジュール

8 月 31 日 (土)	12:00-12:50	受講生受付開始	
	12:50-13:00	開校のことば・説明	
		[初級コース]	[中級コース]
	13:00-14:00	腎生検標本の取り扱い	病理形態から病因・病態評価
		5 分 休憩	
	14:05-15:05	光顕標本の評価と鑑別診断	ネフローゼ症候群の鑑別診断
		5 分 休憩	
	15:10-16:10	免疫蛍光・免疫組織化学標本の評価と鑑別診断	MPGN 型糸球体傷害の鑑別診断
		10 分休憩	
	16:20-17:20	電顕標本の評価と鑑別診断	尿細管間質病変の病理診断
		5 分 休憩	
	17:25-18:25	臨床・病理所見からの総合診断	移植腎病理入門
	18:50-	懇親会	
9 月 1 日 (日)			
	8:30-13:00	実習・初級クラス(典型 6 症例) 実習・中級クラス(非典型 6 症例)	
	13:00-13:05	閉校式	

概要：第 19 回腎病理夏の学校では、講義および実習を初級・中級コースに分けて行います。講義は会場とオンラインのハイブリッド形式とします。実習は初級コース用の典型例、中級コース用の非典型例、約 6 例ずつ準備する予定です。バーチャルスライドは事前に郵送します。コース別に適宜 10 人程度のグループ分けをし、チューターが症例を選択して、一例 30 分ほどかけて解説を行い、discussion します。

講義：質問時間をとるため、1 コマ 1 時間という余裕をもったプログラムとしました。初級コースでは、これから腎病理を学びたい、病理標本を見始めたばかりの医師を対象に、腎病理の初歩を学びます。中級コースは、ある程度腎生検診断を行った医師を対象に、より実践的な診断・鑑別のテクニックについて学びます。

実習：バーチャルスライドを用いて実習をします。初級コースでは、疾患の診断よりも、各病変の評価の仕方を中心に解説します。IgA 腎症、膜性腎症、Lupus 腎炎、糖尿病性糸球体硬化症、MPGN 型糸球体腎炎、Amyloidosis などを考えています。中級コースでは、実際の病理診断の流れに沿って、解説をします。ネフローゼ症候群、MPGN 型糸球体傷害・糸球体沈着症、尿細管間質疾患、移植腎から各 1-2 例を用意します。